

地域医療・総合診療実践学寄附講座

○総合診療研修プログラム（選択）

【研修プログラムの概要・特徴】

平成27年度より、「総合診療研修」の選択研修受け入れが再開された。選択研修は2年目に行うことを想定している。

- ① 2年目に選択研修の定める範囲内で受け入れる。
- ② 定員は同時期に1名までを原則とし、希望者多数の場合には調整を行う。
- ③ 選択研修では、主体的に診療を行い、責任を担う事が期待される。検査や処置への関わり、入院／帰宅の判断、各専門診療科へのコンサルト、帰宅の際の投薬やフォローについての処理、入院の場合の診療等、その時点での到達能力に応じ実施する。なお、単独診療ではなく、最終的には必ず指導医のチェックを受ける。
- ④ 指導医の監督下、チームとして共同で総合診療（外来、入院患者診療）に従事する。
- ⑤ 希望があり、受け入れの条件が整えば、大学病院の総合診療科だけではなく、地域医療・総合診療実践学寄附講座教育拠点が設置されている公立玉名中央病院および天草地域医療センターでの総合診療科研修も可能である。

【研修の目標】

一般目標：生涯にわたって外来での患者さんの問題に対して対応できる臨床医になるために、「臨床研修到達目標」のうち、外来でよく遭遇する症状・病態・疾患を個別に経験し、これらを通して、医療面接、身体診察、医療記録、症例呈示&議論、問題解決能力（臨床推論）など臨床医としての基礎である「基本的臨床能力」を特に深めていく。

行動目標：

- ① 外来でよく遭遇する症状・病態・疾患に対する鑑別ができる。
- ② 限られた時間内に医療面接から効率よく情報収集が行える。
- ③ 限られた時間内に医療面接からコミュニケーションが行える。
- ④ 限られた時間内に身体診察から効率よく情報収集が行える。
- ⑤ 限られた時間内に効率的に必要な検査を選択・実施し解釈できる。
- ⑥ 限られた時間内に効率的に必要な情報提供・教育指導が行える。
- ⑦ 患者さんに対し必要な投薬・加療やチーム医療を実施できる。
- ⑧ 患者さんに対し適当な期間を設定し経過観察・継続診療ができる。
- ⑨ 限られた時間内に効率的に必要な事項を満たした医療記録が行える。
- ⑩ 限られた時間内に症例呈示を行い、有効な議論が行える。
- ⑪ 患者さんの問題点を把握しその問題に対して科学的なアプローチができる。
- ⑫ 患者さんの問題点から鍵となる部分を抽出して必要な情報を検索し適用できる。
- ⑬ 自分で調べたことを有効にまとめ活用することができる。
- ⑭ 自己学習の意義を理解し積極的に取り組むことができる。
- ⑮ 他の医療従事者と協調して学習することができる。

補足：

研修の最初に指導医と研修医とで、これらの目標の範囲・程度の設定を確認し開始する。外来でよく遭遇する症状・病態・疾患は具体的には、別途想定される「経験目標」として設定する。週毎に目標の到達状況を見て、目標を適宜修正する。

【研修の方略（スケジュール等）】

大学病院の総合診療科外来にて主な研修を行なう。指導医は、外来担当医が原則担う。午前中は毎日、指導医の総合診療科外来に陪席（午前9時～）し、指導医と共に、原則として新患者の診療を担当する。医療面接、身体診察、カルテ記載、病状・方針説明、検査オーダー、投薬加療、コンサルテーション、紹介状/返書作成などを行う。午後は「外来レビュー」で午前中の症例の提示・討議を行う。レビューをもとに“Clinical Question”を自ら設定し、学習テーマとし、研修医が主体となって探索を行い、自己学習、レポート作成を行う（「テーマ別研修」）。

一日の最後に「振り返り」を行い、学習を深める。

研修期間での総まとめとして、研修期間の最後に自由なテーマでの発表を実施する。尚、テーマは「臨床研修の到達目標」に準ずる。また、毎週水曜日の午後は、総合診療科で進めているリサーチミーティングや学会発表に向けての予行演習などにも参加し、学習を深める。

その他、医局や大学病院関連あるいはその他研修関連の各種勉強会やカンファレンス等にも適宜参加する。また、必要に応じて医学生への学習支援を行う。

大学病院総合診療科単独の研修以外に、希望があり、受け入れの条件が整えば、地域医療・総合診療実践学寄附講座教育拠点が設置されている公立玉名中央病院および天草地域医療センターでの総合診療科研修も可能である。その場合、大学病院の総合診療科単独の研修中に並行研修するパターンと、教育拠点のみで研修するパターンとある。

週間スケジュール (大学病院 総合診療科)

	月	火	水	木	金
8:30~	オリエンテーション	自己研修			
9:00~	外来研修				
13:30~	外来レビュー				
14:30~	テーマ別研修 ※ 水曜日：リサーチミーティングや学会発表に向けての予行演習など				
16:30~	振り返り				
17:30~	自己研修				週間振り返り 自己研修

- ・昼食、昼休みは合わせて1時間ほど外来終了後適宜とする。
- ・振り返り：当日担当指導医とのテーマ別研修に関する振り返り
- ・自己研修：振り返りののちの自己学習
- ・週間レビュー：医局長との今週の目標の到達状況のレビューと次週への修正
※希望があれば、大学病院総合診療科での研修をしながら週1~2日、地域医療・総合診療実践学寄附講座 地域医療教育拠点が設置されている公立玉名中央病院および天草地域医療センターでの研修も可能である。

週間スケジュール (地域医療・総合診療実践学寄附講座玉名教育拠点での例)

	月	火	水	木	金
7:30~		モーニング レクチャー	プライマリケア レクチャー		
8:30~	朝カンファ / 総合診療科入院患者病棟回診				
9:00~	外来研修 (小山)	救急研修 (小山他)	外来研修 (田宮)	救急研修 (上級医)	外来研修 (小山)
13:30~	外来レビュー	外来レビュー・ 入院患者カンファ レンス	外来レビュー		
15:00~	病棟研修	訪問診療	病棟研修	病棟研修	病棟研修
15:30~		病棟研修		緩和ケア回診	
17:00~	振り返り			振り返り・ 抄読会	週間振り返り 自己研修
17:30~	自己研修				

- ・モーニングレクチャー：公立玉名中央病院の職員(医師・薬剤師・理学療法士・MSW等)によるレクチャーである。
- ・朝カンファ：毎朝8:30から医局(北棟4階)で、新入院・重症者のカンファを行い、その日の方針を確認する。
- ・総合診療科入院患者病棟回診：朝カンファ後、新入院・重症者の病棟回診に参加する。
- ・外来研修：総合診療科外来に参加する。
- ・外来レビュー：毎日、自分が担当した外来患者について、レビューを行う。この時に昼食を摂ってもよい。
- ・病棟研修：受け持ち入院患者のチーム診療にあたる。この時間帯に各種カンファレンスや、回診が入ることがある。
- ・訪問診療：機会があれば、適宜、訪問診療にも参加する。
- ・振り返り：当日担当指導医とのテーマ別研修についての振り返り。
- ・自己研修：院内に留まる必要はない。自由時間。
- ・週間振り返り：指導医との今週の目標の到達状況の確認と次週への修正。
- ・昼食、昼休みは合わせて1時間ほど午前中の診療終了後適宜とする。

【研修の評価】

指導医は、毎週、EPOC2に記載された到達目標の達成度チェックの上、研修医へフィードバックを行う。目標の到達状況に応じて、次週の目標を適宜修正し設定する。またそれらの進捗については、総括的評価へ向けた情報提供を、適宜行う。

総合診療科のローテーション終了時には、総合診療・地域医療に関するテーマでまとめの発表を行う。指導医からの最終的な評価は、研修終了時に研修医評価票に入力される。

【その他】

尚、研修期間は最低4週であるが、長期間になればなるほど、研修目標をより深めることが可能になる。一方で他診療科での研修期間が短くなるために、研修医自身の希望を基に、バランス良く研修期間を決定する事が望ましい。

また「総合診療・地域医療特化プログラム」の中では、選択診療科として研修することもできる。しかしながら研修の受け入れ体制は、医学部学生の臨床実習等との兼ね合いがあるために、時期によって異なる。このため当科での研修を希望する場合は、事前に研修指導責任者と協議することが必要である。

【研修実施責任者】

救急・総合診療部長：松井 邦彦

【研修指導責任者（指導医）】

(正) 松井 邦彦

(副) 谷口 純一